

令和2年度 施政方針の要旨

2月25日(火)、令和2年第1回議会定例会が開会され、冒頭、黒田市長が新年度に臨む施政方針を発表しました。

☎政策企画課 ☎892-0121

はじめに

昨年5月から新元号「令和」が始まり、新しい時代の幕開けとなりました。

本市の昨年一年間の社会動態は転出超過となりましたが、子どもとその親世代は転入超過であり、以前から続く子育て世代の流入傾向は維持されていることが確認できます。

良好な住環境があるまちとして発展してきた本市の活力維持には、子ども、現役世代、シルバー世代の相互理解と支え合いが重要であり、若い世代の移住・定住の促進により世代構成のバランスを保つことが必要と考えます。

また、それと合わせて企業や事業者の力と身近な雇用の創出も大事であり、その基盤づくりが重要と考えております。

行政経営的な視点に立ち、子育て・教育の充実による住民誘致や、まちの活力の原動力となる企業誘致を進めるとともに、新しい学校づくりや公共施設の老朽化対策、インフラの維持などにも着実に取り組み、持続可能で魅力ある交野を目指してまいります。



予算の概要

新年度の予算につきましては、市税収入や地方交付税は一定確保できているものの、社会保障関連費用は増加傾向にあり、中・長期的な見通しを踏まえ、将来への備えをしつつ、まちを成長させるための配分となるよう編成いたしました。

令和2年度当初予算

一般会計	269億8,150万1千円
国民健康保険特別会計	79億9,942万6千円
介護保険特別会計	58億8,892万7千円
公共用地先行取得事業特別会計	10億3,780万4千円
後期高齢者医療特別会計	15億1,490万2千円
水道事業会計	39億0,821万2千円
下水道事業会計	22億2,814万5千円
総額	495億5,891万7千円

危機管理室

防災対策 災害に備え、指定避難所となる各小中学校にソーラーパネル付きの蓄電池を配備します。また、新たな総合防災マップを作成し、更なる地域防災力の向上を図ります。

情報システム 各部署の情報セキュリティ監査等を実施し、セキュリティの強化に努めます。

総務部

産業振興 4月から「企業立地促進条例」を施行し、企業立地と産業集積の促進と雇用創出を図ります。

企画財政部

財政運営 持続可能な財政運営を確保するための財政規律・財源確保策を検討し、「財政運営基本方針」の見直しを行います。

魅力発信 若い世代・子育て世代に選ばれるまちにするため、「シティプロモーション戦略」に基づき、本市の魅力を市内外に発信します。

新庁舎整備室

新庁舎整備 「庁舎整備基本構想」を踏まえ、より具体的な方向付けを記した「庁舎整備基本計画」の策定や、移転・集約化に向けた諸規程の整備を進めます。

市民部

コンビニ交付 コンビニ交付サービスの普及に向けて、マイナンバーカードの取得促進を図り、効率的な住民サービスに努めます。

国民健康保険 糖尿病性腎症重症化予防事業や重複・多剤服薬への取り組みを行い、健康寿命の延伸と医療費の適正化を図ります。

健やか部

子育て支援 「子ども家庭総合支援拠点」を設置し、関係機関との連携強化等により、児童虐待の防止・早期対応等を図ります。

幼児教育 第1認定こども園では、4月から社会福祉法人による新たな運営が開始されます。民営化により生み出された財源を活用し、全市的な教育・保育の質の向上を図ります。

健康寿命の延伸 積極的な周知により、「おおさか健活マイレージ アスマイル」をより多くの市民にご利用いただき、健康寿命の延伸に努めます。

福祉部

生活困窮者支援 経済的自立等につながるよう関係機関と連携し、相談支援を進めるなどセーフティネットの取り組みを進めます。

外出支援施策 高齢化の進展に伴う課題や市内公共交通としての路線の維持を図る観点から、新たな施策へと転換を図ります。

環境部

資源ごみ収集 「空き缶・空き瓶・乾電池等」「新聞紙・雑誌・段ボール等」の収集回数を月1回から2回に変更します。

未来へつなぐ環境づくり 持続可能な社会の構築を目指すとともに、SDGsが掲げる気候変動対策を進めるため、フールチョイス普及啓発活動を進めます。

都市計画部

星田北のまちづくり 土地区画整理事業が着実に進められるよう、国・府補助金の確保や市の技術的、財政的支援とともに、市街路事業に係る用地交渉、買収等に取り組みます。

公共交通 公共交通の維持は市民生活に不可欠であるため、利用促進と持続可能な運行体制の実現に向けた多様な取り組みを進めます。

市内建築物の耐震化 「第二次耐震改修促進計画」に基づき、更なる耐震化の促進に努めるとともに、老朽化した公共施設の計画的な改修等のマネジメントを実施します。

都市整備部

インフラの維持管理 国の交付金等を活用し、橋梁や道路などのインフラ長寿命化の個別計画に基づき、計画的に長寿命化を行います。

下水道事業 下水道整備から50年以上が経過しているため、調査・点検を実施しつつ効率的な維持管理および改築・更新を推進します。

教育総務室・学校規模適正化室

教育施策の推進 「教育大綱」および「学校教育ビジョン」に基づき、着実に施策を進めます。

学校規模適正化 第三・第四中学校区の学校の規模適正化等を検討するとともに、第一中学校区では魅力ある学校づくり事業として新たな教育環境の実現に向けた新校整備の基本設計を進めます。

学校教育部

小中一貫教育 「交野市は9年間で育てます」をキャッチフレーズに全ての中学校区で交野型小中一貫教育を進めます。

学校ICT整備 国を挙げて学校におけるICT化が進められる中、本市においても1人1台の端末整備等ICT化を進め、質の高い教育を推進します。

生涯学習推進部

文化財の保護 文化財の計画的な保存・活用を促進するため、「文化財保存活用地域計画」の策定を進めます。

図書館 効率的な図書館運営に努め、市民の読書活動推進のため、より質の高いサービスの提供を目指します。

消防本部

消防機材の充実 指揮車の更新と資機材の充実を図り、消防力の充実強化に努めます。

水道局

おいしい水の提供 昨年、モンドセレクションで最高金賞を受賞した「星のしずく、きらり☆」を活用し、本市の水道水の価値や魅力を積極的に発信します。

安定供給 「広域連携」や「官民連携」についても調査・研究を行い、今後も安全・安心な水道水を安定的に供給すべく取り組みます。

おわりに

本市は、令和3年度に市制施行50周年を迎えます。今年度は1年かけて、そのための準備を整え、素晴らしい機会にしていきたいと思っております。

また、今後、本市が向かうべき指針となる総合計画基本構想やまちづくりの指針となる都市計画マスタープランの改定にも着手してまいります。

これまでの50年をもって、本市の未来を見通すことは難しい時代となりました。これまで受け継いできたまちの魅力を守り育て、次の世代に引き継ぎ、持続可能性と成長を目指した交野のあり方・まちの姿を、市民の皆様とともに考え、形にしていきたいと思います。

今後も、市の方向性や市政運営についてしっかり「発信」しながら、市民の皆様との「共有」「共感」を大切に、市政運営に取り組んでまいりたいと考えております。